

文化の壁越えつながる友情

山田町ジュニア海外使節団交流記



オランダを訪問した町ジュニア海外使節団（中学生11人、高校生1人）は1月4日から12日までの日程を終え、無事帰国しました。江戸時代にオランダ船ブレスケンス号が山田湾に漂着したという史実が縁で始まった同国への派遣も、ことして19回目。生徒らは異国で何を見聞き、そして何を感じたのでしょうか。

山田中学校の大越龍二副校長を団長とした、豊間根中・山田中の2年生11人と山田高の2年生1人、引率者3人の山田町ジュニア海外使節団15人は1月4日から12日までの9日間、友好都市オランダ王国ザイスト市を訪問しました。

◎異文化との出会い

1月5日、使節団は遠い異国の地に降り立ちました。人口80万人のオランダの首都・アムステルダム市。同市にあるスキポール国際空港に降り立った生徒たちは、自分たちとは背格好の全く異なる人々に圧倒されます。また空港内にある土産物店では、日本においてなかなか見ることのできない木靴などが売っており、初めて外国に来たと実感した瞬間でした。その後生徒たちは「アンネの家」に向かい、この地で起きた凄惨な歴史を学びました。

◎CLZ校での授業

翌6日に向かったのは、千人以上の生徒たちが学ぶ、歴史あるクリスティック・リセイム・ザイスト（CLZ）校。ここでは、5日間寝食をともにすることとなるホストファミリーらと顔合わせしました。同校ではドラマの授業や美術の授業で、日本ではなかなか行われない「身体表現」や「抽象画」について、

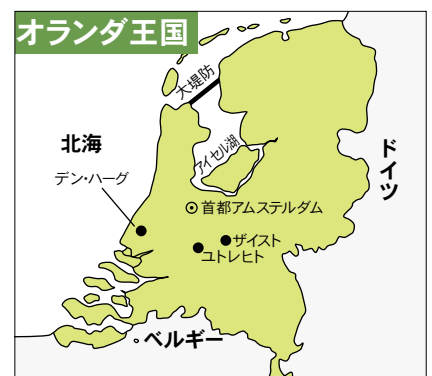
オランダの生徒らと合同学習。ここでの授業は、生徒たちの心に一生残るものとなりました。

◎異国情緒を感じる

生徒たちはオランダ派遣の間、ザイスト城、ユトレヒトのドム塔、アムステルダムのゴッホ美術館、ザーンセスカンスなどを見学し、異国文化を体験しました。日本では見ること・触れることのない景色、建物、そして生活文化に生徒たちは感動。国内では決して得ることのできないものを吸収しました。

◎つなぐ力、伝える力

オランダ派遣で生徒たちは「言葉の壁」に行き詰まり、そしてそれを超える「つなぐ力」「伝える力」を学びました。そして、7日間の滞在期間で「もうひとつの家族」ができました。この経験は、何にも替えがたい将来の力となるに違いありません。





オランダで学んだ 「自主性」の高さ

山田高 勝山雅治君

このオランダ派遣は、僕にとって忘れられない時間になりました。ホストファミリーやCLZ校の皆と過ごした時間は、1週間では足りないくらい充実していました。僕がオランダの人たちと交流をして印象的だったのは「自主性」の高さです。授業中やクラブで自分の意見を持って皆が発言していたり、チームの中でたくさん言い合ったりしているのを見て驚きました。僕は、積極的に前に出るような人間ではなかったのですが、皆のリーダーとして、オランダの友達やホストファミリーと過ごせたことで自分が成長することができたと思います。

オランダの朝焼け

ジュニア海外使節団団長
大越龍二山田中副校長



ジュニア海外使節団の団長という大役に緊張しつつ、アムステルダム市からザイスト市に向かう車中で見た鮮やかな朝焼け。それは夢のように過ぎたオランダの日々を象徴するものとして鮮烈に残っています。今回参加した団員の一人一人が、心の中に忘れえぬ「自分だけの朝焼け」を刻み込んだことと思います。オランダで実際に見聞き、体感したこと。オランダの方々との触れ合いの中で感じたこと、学んだこと。そして、見知らぬ地で挑戦した自信や達成感などが生涯の宝物として、それぞれの未来を明るく照らす「朝焼け」となることを確信しています。今回の派遣が無事に実り多いものとなったことを団員一堂に感謝します。また、山田町やザイスト市、CLZ校やホストファミリーの皆さまに心から感謝申し上げます。

オランダで 過ごした7日間

山田中 白野虹歩さん



オランダで過ごした7日間は、私にとって貴重な時間になりました。特に心に残っているのはホームステイ。ホストファミリーは、両親と4人兄弟でした。すぐく元気で、緊張していた私を温かく迎え、たくさん話しかけてくれました。一緒に買い物に行ったり遊んだり、パーティーで踊ったりしているうちにたくさん話せるようになりました。ホストフレンドのキムとは、CLZ校と一緒に授業を受けたり、自転車やスケートを楽しんだりして、さらに仲良くなれたと思います。今回の派遣でオランダの人たちの優しさにたくさん触れることができました。

充実の9日間

ジュニア海外使節団引率
清野直美豊間根中副校長



「感謝の気持ちを持って、オランダでの体験を楽しんで来てください」という佐々木教育長の温かい励ましの言葉を胸に、私たち使節団はオランダに旅立ちました。オランダの夜明けは遅く、時差ぼけに悩みましたが、ホフライスの方々をはじめとする関係の皆さまやホストファミリーの温かい歓迎と対応に支えられ、充実した日々を過ごすことができました。特にCLZ校での授業は、生徒たちの心に強く残ったのではないのでしょうか。日本にはないドラマの授業では身体表現を求められ、美術では現在の感情を抽象画で表現する課題が出されました。どの生徒も、ホストファミリーの生徒と片言の英語を交えながら、熱心に取り組んでいました。今後は、この経験をそれぞれの将来に役立てられるよう努めてまいります。



オランダで 分かったこと

山田中 大須賀遼君

オランダ派遣では、今までに体験したことのないことがたくさんありました。ホームステイ先では、言葉が通じない状況の中で5日間を過ごしました。最初は、緊張して何もできず言葉も分からなかったけれど、それは一日目だけでした。二日目からはホストフレンドと学校へ行ったり、家ではゲームを楽しんだりしました。ホストファミリーとの最終日はものすごく楽しかったです。一方、オランダで大変だったことは言語の違いですが、みんな優しくしてくれました。オランダの人々の優しさは忘れません。

主な行動日程

1月4日…本町出発 5日…アムステルダム着／アンネの家見学 6日…CLZ校で歓迎会／ザイスト市役所表敬訪問／ホームステイ先へ（11日までザイスト市内でホームステイ） 7日…CLZの授業に参加 8日…ユトレヒト研修／フェアウェルパーティー 9日…アムステルダム日本人学校訪問／アムステルダム市内研修／ゴッホ美術館見学／ザーンセスカンス研修 10日…終日ホストファミリーと過ごす 11日…ホストファミリーとお別れ 12日…帰町



印象に残った授業

豊間根中 坂本 琢磨 君

オランダ派遣では、今まで経験したことのない多くのことを体験することができました。一番印象に残っているのは、CLZ校での授業です。日本と違うのは、生徒が自分のノートパソコンを使って授業内容のまとめやレポートの提出をしていることでした。オランダ語での授業なので内容は分からないことが多かったですが、とても興味深いものばかりでした。僕は英語を聞き取ることができても、話すことが難しかったので、これからは英語力を高めていきたいです。そして、オランダで学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。



① アムステルダム日本人学校での交流／② 初めてのオランダ料理に舌鼓



③



オランダ万歳！！

山田中 佐藤 浩人 君

今回の研修では、さまざまなことを体験しました。アンネの家やザーンセスカンソの風車村、ゴッホ美術館の見学や、CLZ校での授業などいろいろなことを体験する中で、文化の違いや体つきの違いなどが印象に残りました。その中で最も心に残ったのは、オランダの人たちとの触れ合いです。私のホストフレンドはマルクという名でした。マルクは優しく、困ったら助けてくれました。また、マルクのほかにいろいろな人と話をしました。皆、とても優しい人たちでした。どの人ともすぐに友達になりました。このことが今でも心に残っています。



オランダの文化に触れて

山田中 山根 一真 君

一番の思い出は、ホストファミリーと一緒に過ごしたことです。最初に会った時、緊張していた僕に明るく接してくれて、すべての緊張が取れました。言葉が通じない時もあったけれど、ジェスチャーなどを使うことで大体通じるようになりました。言語の違いに悩まされましたが、オランダの人は僕に積極的に話しかけ、伝えようとしてくれました。オランダの人の優しさに触れて良かったです。今回の派遣で学んだ日本とオランダの文化の違いや日本との接し方の違いを、これからの人生に生かしていきたいと思います。

目の前の大きな壁を越えて

山田中 五十嵐 楓花 さん

印象に残ったことは言葉の壁です。話し掛けられても、私はあまり理解することができませんでした。しかしホストファミリーは、私に優しく接してくれました。最初は高く感じていた言葉の壁も、時間が経つにつれ感じなくなりました。この経験から、言葉は違って心はつながっていることを学びました。食文化の違いも深く感じ、アムステルダムのレストランの料理の多さや、スーパーの食べ物の多さに驚きました。この研修で、現地でなければ体験できない多くのことを学びました。今回の研修を生かして、さまざまなことに挑戦していきたいです。





伝えるという 大切さ

豊間根中 木村 咲花さん

オランダ派遣を通し、強く感じたこと、それは「言葉は違っても心はつながる」ということです。初めての海外ということで不安でしたが、ホストファミリーはとても温かくやさしい家族でした。何より、積極的に話し掛けてもらえたことが、とてもうれしかったです。私が、英語やオランダ語が難しいと感じるように、外国の方は日本語が難しいと感じるんだな、と思いました。1週間のオランダ滞在は短く感じましたが、充実していました。今後は、オランダで学んできたことを、家族や友人たちに伝え、将来の進路を考えることに役立てたいです。

発見！ オランダの文化

豊間根中 前川 弘樹君

僕はオランダで、日本との違いをたくさん見つけることができました。オランダ到着後、最初に発見した違いは人々の交通手段です。街には、路面電車と自転車が行き交っていました。自動車は左ハンドルで、自転車には専用道路と専用信号がありました。一番大きな違いと思ったのは、オランダの人たちの考え方でした。とても自由で、前向きであり、こちらも爽快感で交流できました。オランダでは、さまざまなことを学び感じることができました。人生にまたとない貴重な体験ができて良かったです。



ファミリーに 支えられた7日間

豊間根中 野口 瑠華さん

オランダでのホームステイでは、文化の違いをすごく感じました。言語が日本と異なるので、最初は会話をするのがとても大変で、何度も理解することに苦しみました。しかし、ファミリーが一生懸命ジェスチャーを交えながら説明してくれたので、理解することができました。後半になるにつれて、ジェスチャーなしでも会話ができるようになり、とても楽しかったです。ホームステイが充実したのは、温かいホストファミリーのおかげなのでとても感謝しています。オランダ語をさらに学び続け、オランダ語でお礼の気持ちを伝えたいです。



③C L Z校にてオランダの生徒と一緒に「身体表現」の授業を受ける／④ホストファミリーと／⑤ゴッホ美術館にて異国の芸術文化に親しむ／⑥ザイスト市役所を表敬訪問



オランダでの 大切な時間

山田中 中屋 朋歌さん

一番緊張して臨んだのはホームステイです。初めてホストファミリーと会った時には何も話せませんでしたが、冗談を言ってくれたり、たくさん話しかけてくれたりしたおかげで自分の意思表示をしっかりとすることができるようになりました。C L Z校では、ドラマという初めての授業や体育・美術などに参加しました。どの授業でも生徒が気軽に声をかけてくれたり、アドバイスをくれたりして楽しく過ごすことができました。オランダで学び、感じた貴重な体験を生かし、オランダの良さをさまざまな人に伝えていきたいです。

オランダの 大切な家族

山田中 中村 なおさん

私にとって、ホストファミリーと過ごした5日間はとても楽しく充実していました。初めはうまく英語を話せるか不安でした。でも、ホストフレンドのニキタや家族がとても優しくしてくれたおかげで不安も消え、食生活や生活の仕方の違いを見つけることがたくさんありました。その中でも、主食や家の中での生活などはなかなか慣れませんでした。私は「日本との違いがたくさんあるなあ」と実感することができました。言葉が通じなくても、伝えようとするのが大切だと思います。学んできたことをこれからの生活に生かしたいです。

